

丸の内 なりたい自分を
デザインする
キャリア塾 × **WJ** for women's health **女性の健康週間**
3/1~8 **広告特集**

丸の内キャリア塾とは、キャリアデザインを考える女性のための実践的学習講座です。毎回、キャリアやライフプランに必要な考え方と行動について多面的に特集しています。

NIKKEI 丸の内キャリア塾 <https://nwp.nikkei.com/marunouchi/>
Facebookページは <https://www.facebook.com/marunouchi>
Twitterアカウントは https://twitter.com/_marunouchi_
Instagramアカウントは https://www.instagram.com/_marunouchi_/

LECTURE
209
2021 February

「女性の健康週間」**3/1~8**

産婦人科医が女性の健康を生涯にわたり総合的に支援することを旨とし、3月3日のひな祭りを中心に3月1日から8日の国際女性の日までの8日間を「女性の健康週間」と定め、日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会の共催で2005年にスタート。08年からは、厚生労働省も主唱する国民運動として様々な活動を展開しており、今回で17回目を迎えます。全国各地で開催される女性の健康に関する市民公開講座などの情報は、日本産科婦人科学会ホームページの「イベント情報」よりご確認ください。



特に異常なし、でもつらい 女性を悩ます「不定愁訴」とは

女性の健康週間 インタビュー **4** 不定愁訴

頭が重い、体がだるい、眠れないなど体調不良を感じ、検査をしたけど異常なし、でもつらさが続く……いわゆる「不定愁訴」に悩まされる女性は多いようですが、仕方がないとあきらめてしまう方も。「女性の健康週間」を応援する本特集、4回目は不定愁訴について、東京医科歯科大学教授の寺内公一先生に伺いました。



寺内 公一先生

東京医科歯科大学
大学院医歯学総合研究科教授

身体的・心理的・社会的
さまざまな要因が関係

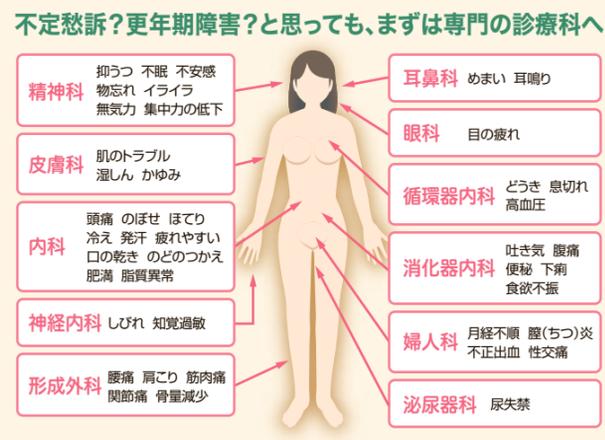
——不定愁訴とはどのような状態をいうのでしょうか。

寺内 例えば頭が重い、体がだるい、イライラする、よく眠れないなど、何となく体調が悪いという自覚症状があるけれど、検査をしても原因となる体の異常が見つからないといった状態を不定愁訴と呼んでいます。特徴として、自覚的に訴える症状が一つに定まらず、多彩で変化するということが挙げられます。多彩な症状を訴える疾患として全身性エリテマトーデス（SLE）という自己免疫性の病気などもあります。この場合は検査で診断できず、不定愁訴には当てはまりません。

——更年期障害の症状と似ているようですね。

寺内 更年期障害の症状は、不定愁訴と重なっている部分が多いと言えます。不定愁訴を訴える患者は圧倒的に女性が多いのですが、これには身体的、心理的、社会的な要因、つまりバイオ・サイコ・ソーシャルな要因が、その発症に関わるものと考えられます。

女性に不定愁訴が起きやすい身体的な要因として挙げられる



——不定愁訴かと思っただけ、受診した方がよいのですか。また治療法はあるのでしょうか。

寺内 何となく感じる体の不調を「不定愁訴」や「更年期障害」と思ってしまう、受診してしまいがちです。自己判断され、受診してしまいがちです。自己判断され、受診してしまいがちです。自己判断され、受診してしまいがちです。

丸の内キャリア塾スペシャルセミナー **オンラインライブ配信**
事前登録制(無料)

女性のライフデザインとリプロダクティブヘルス
~今こそ考えたいトータルヘルスケア~

■日時：2021年3月3日(水) 18:00~20:40

お申し込み <https://events.nikkei.co.jp/34561/>
お問い合わせ または

応募締め切り **2021年2月24日(水)**